

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

別添様式2

公表日：2019年3月22日

事業所名：すこやかキッズスタジオ垂水

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	全体を職員が見渡せるよう、安全で広いスペースを確保し、プログラムに合わせて机等の移動をおこなっている。	・訓練スペースの確保は個々に合わせて確保していただいている。 ・見ていないのでわからないという意見も少数ありました。	これからも整理整頓に気を付ける等、快適にすごせるように工夫していく。
	2 職員の適切な配置	子どもの人数や状態、送迎に応じて、適切に配置をおこなっている。	・個々に応じた職員を配置してくれている。 ・見ていないのでわからないという意見もありました。	現在の配置数を続けていき、引き続き安心安全な施設を目指していく。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	施設内はワンフロアで、全体が見渡せるようなシンプルな環境を整えている。フロアが2階の為、階段の上り下りの際には声掛けなど注意をしている。	・ワンフロアで、どこにいても全体が見渡せるように工夫されている。 ・フロアが2階にあり、エレベーターがない。	階段の昇降は引き続き注意をし、室内も整理整頓に注意し引き続き見渡しやすい環境を維持していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	毎日、清掃はしっかりとおこない清潔を保ち、温度調節もこまめにしている。また、クッションマットを敷き、安全で過ごせる環境作りに務めている。	・清潔にされており、掃除もしっかりとされている。	引き続き清掃、消毒をし、おもちゃの破損がないか定期的なチェックをしていく。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	定期的な職員への聞き取りをおこなったり、職員からの問題定義等があれば都度話し合っている。		職員が積極的に参加できるようにさらに環境を整えていく。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	現在は、実施していない。		第三者による外部評価はないが子どもたち、保護者の方が安心して利用できるよう業務内容の改善、向上に努める。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	入社時研修全体で集まり、研修(虐待防止など)をおこなっている。		引き続き定期的な研修を行う。外部の研修への参加も積極的に参加する
適切な支援の	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	計画の作成前に保護者からの希望や様子などを伺い、課題やニーズを適切に反映させるよう努めている。		保護者の方からニーズ、お家での様子を伺い、個々の子どもの現状に合わせた計画書作成を行う。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子供の様子に合わせ、個々の強みを伸ばすことができるよう支援、活動をおこなっている。	・子供の状況をよく見てくださり、個々に応じた計画書の作成をしていただいている。	引き続き個々の支援だけでなく集団生活に対する支援の内容を含めた計画書を作成する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
提供	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個々の状況に合わせた目標、保護者からのニーズを反映させ、わかりやすく具体的な支援内容の記載に努めている。		個々の子どもの現状と課題を説明し課題に対する支援内容の記載に努める。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	職員が共通意識を持ち、計画に沿って適切に実施するよう努めている。	・適切にされていると思います。 ・個別に応じた専門的な訓練をしていただけると、うれしい。	計画書作成時だけでなく、定期的に個々の課題や注意点について確認を行い、計画に沿った支援を継続する
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員全体でアイデアを出し合い、安全に配慮し、全員が参加できる活動プログラムを計画し、実施している。		職員同士の話し合いの時間をつくり、案を出し合う。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	ご家庭の事情も考慮し、現状できる範囲での対応をさせていただいている。	・イベント行事などの催しがあって、子供が楽しんで集団で活動できるように工夫されている。	引き続き、ニーズに沿った支援を心がける。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	季節や子供の状況に合わせてたり、曜日や時間など活動プログラムに幅を持たせている。		職員の発案の場を設け新たなプログラムを立案し固定化しないように努めていく。
	8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	送迎前に一日の流れや注意点、役割分担の確認をおこなっている。		引き続き朝礼で個々の子どもの支援内容や役割、職員の配置の確認を行い支援が円滑に進むよう努める。
	9 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	職員からの報告、気付いた点などについては、話し合いをおこない、特記事項はノートに記載して全職員に周知をしている。		引き続き支援終了時の報告をしっかりと行い、休日の職員にも情報が共有できる書類等を充実させていく。
	10 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別の記録簿に各内容についての記録をしている。また、支援内容についての変更や改善点についての話し合いも実施している。		各記録に不備がないよう日々のチェックと月末のチェックを実施していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し		今後も定期的なモニタリングと計画書作成を行っていく。
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	現在ほとんどサービス担当者会議の開催がないが子どもの状況を把握している責任ある職員が会議に参加している。	引き続き管理責任者が会議に参加する。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	該当なし	該当なし
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	該当なし	該当なし
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	該当なし	該当なし
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	現時点で、障害福祉サービス事業所を利用する子供はいない。	利用時の資料はしっかりと保管し必要に応じて情報提供できるようにしておく。
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	必要に応じて実施している。	今後多くのスタッフが研修に参加できるように調整していきたい。
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	児童館などとの交流の機会は持っていない。	・わからないという意見が多い。 交流出来ていないが、機会があれば検討していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	地域住民の方々との行事などは実施していない。	・いいえ、わからない、という意見が多い。	機会があれば検討していく。
保護者への説明責・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	見学、面談時に説明をおこなっている。また契約時には口頭、書面にて説明している。	・書面だけでなく、書面の内容、金額についても細かく説明していただきました。	引き続き丁寧な説明を心がける。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	計画書を保護者に提示し、支援内容やニーズについての説明、確認をおこなっている。	・計画書の書面内容についてきちんと説明していただけた。	引き続き丁寧な説明を心がける。
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	ペアレント・トレーニングのプログラムの実施はないが、相談依頼があれば、個別に対応できる環境を整えている。	・はい、と、いいえ、の評価が半々。 ・もっと相談できたり、専門的な情報、アドバイスをいただきたい。	保護者へのアドバイス等は今後も都度行っていく。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	連絡帳や送迎時に子供の情報のやり取りをおこなっている。また電話対応でも状況を伺い、共通理解を深めている。	・毎日、送迎時に活動状況を伝えていただけたたり、帰ってからでも電話で伝えてくれる。	今後も保護者との情報交換・共有が適切に行えるように改善点があれば検討改善に努める。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	送迎時や電話で保護者から話を伺い、対応する機会が多い。また、保護者からの依頼があれば、相談ができる環境を整えている。	・送迎時に、相談を聞いてくれたり、その場で解決しない課題は、後ほど電話などで対応をしてくれる。	今後も都度保護者からの相談には対応し適切な助言を行えるように努める。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	父母の会などは、実施していない。	・父母の会や保護者同士で、交流する機会はない。	現在父母会等の実施の予定はありません。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	苦情に対する対応体制は、契約時の書類に記載して説明しており、対応する体制は整えている。	・すぐに連絡をしてくれて対応してくれる。 ・わからない。	引き続き苦情があった場合は、迅速丁寧に対応できる体制を整えておく。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	絵カードの使用やジェスチャー、定期的な声掛けをおこなっている。保護者には送迎時、連絡帳にて日々の様子をお伝えしている。	・送迎時に、子供の様子や活動について教えてくれる。	引き続きわかりやすい情報伝達のに努める。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	定期的な開放は発行していない。送迎時にイベント行事などについてお伝えをしている。また、連絡帳などを活用し、活動について記載をしている。	・イベント行事は楽しみにしている。	今後も十分な情報発信に努め、改善点があれば検討していく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	契約書に記載しており、説明をしている。書類等は厳重に保管しており、守秘義務を心掛けている。	・十分注意していただいていると思う。 ・わからない。	今後も契約時の説明をしっかりと行い、保管や共有の際の取り扱いには細心の注意を行う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルは策定しているが、保護者に対しての周知徹底には至っていない。	・感染症が流行ったときなどは、注意喚起をしてくれる。 ・体調が悪くなった場合も連絡をいただき対応をしてくれる。	マニュアルの定期的な更新を行い。保護者への周知を進めていく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	マニュアルに基づき、年2回訓練を実施している。	・わからない。	今後も計画通りの訓練の実施を行い。当日参加していない児童の保護者へも訓練実施の報告を行っていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	入社時に虐待防止の研修を必ずおこなっている。また、毎月チェックリストでの自己確認をおこない、虐待防止意識の向上に努めている。		今後も定期的な研修の実施と毎月のチェックリストを実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束を実施した事例はないが、子ども自身に危険がある事例については、その事業所だけでなく会社全体での会議で決定しており、全職員に周知している。また、保護者にも十分に説明し、理解いただいた上で、支援計画書へ記載している。		引き続き全体での会議で慎重に決定していく。全職員が周知できる体制を継続していく。計画書の記載、保護者への説明も徹底する。
	5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	医師の指示書の提出はおこなっていないが、保護者からの申告により、全職員が情報を共有し、安全に配慮した体制を整えている。		保護者、医療機関等との情報収集や連携を更に推進していき安全な対応を徹底していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	事例についてはノートに記載し、職員が情報共有をおこなっている。また、他の事業所での事例についても周知をおこない、再発の防止について意識の徹底を図っている。		引き続き、書面でのヒヤリハットの作成と職員が共有するよう、話し合い等を行なっていく。